

部局名	安全環境部	所属名	総合防災課	所属長名	綱島 幹夫	電 話	483-1151 内線：2291
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	------------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3056		事務事業名称	災害対策施設整備等事業					短縮コード	経常	3056	臨時	3057
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	10	災害対策費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		災害対策基本法，地震防災対策特別措置法，八千代市防災会議条例，八千代市災害対策本部条例，八千代市防災行政用無線局管理運用規程，八千代市地域防災計画							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
市民の生命，身体及び財産を災害から保護するため，八千代市地域防災計画に基づき，防災行政用無線・防災資機材の整備，非常用食糧の備蓄等を行い，災害に対する総合的な対策を実施する事業です。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
東葉高速鉄道の開通を契機として，住宅建設に拍車がかかり，建築物の中高層化，住宅の過密化が進み都市型災害の危険性もますます増大しています。					大項目（節）	01	市民の安全						
					中 項 目	01	防災						
					小項目（施策）	01	災害予防体制の充実						
						02	災害応急対策の充実						
					細 項 目	01	地域防災計画の確立						
						01	情報連絡体制の強化						
				実施計画の計画事業	3102	防災行政用無線整備事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成17年4月 ～ 平成20年3月		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市地域防災計画，防災会議委員，防災行政用無線，防災倉庫，災害用井戸，井戸，防災備蓄品									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成17年度に実際に行ったこと： 1. 八千代市地域防災計画(平成17年度修正)の作成，2. 防災会議の開催，3. 防災行政用無線整備及び維持管理，4. 防災倉庫・災害用井戸の維持管理，5. 災害時協力井戸の確保，6. 防災対策及び災害対応に係る一般事務									
	※平成18年度に計画していること： 1. 防災会議の開催，2. 防災行政用無線維持管理，3. 防災倉庫・災害用井戸の維持管理，4. 災害時協力井戸の確保，5. 防災対策及び災害対応に係る一般事務，6. 国民保護計画の作成									
意図 （何を狙っているのか）	地域防災計画を推進する。 災害時に迅速かつ正確な情報の伝達ができるようにする。 災害時に防災用備品・備蓄品・井戸等が機能するようにする。									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	防災体制の強化									
区 分					単位	1 6 年度	1 7 年度		1 8 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	防災行政用無線子局数	局	113	113	113	113			
	指標 2	整備計画目標の非常用食糧数	食	196,000	196,000	196,000	196,000			
	指標 3	整備計画目標の災害用トイレ数	基	245	245	245	245			
活動指標	指標 1	当該年度にデジタル化した防災行政用無線子局数	局	8	9	9	0			
	指標 2	当該年度に備蓄した非常用食糧数	食	7,600	0	0	6,320			
	指標 3	当該年度に備蓄した災害用トイレ数	基	10	0	0	0			
成果指標	指標 1	防災行政用無線子局のデジタル化の割合	%	92	100	100	100			
	指標 2	整備計画目標に対する備蓄済みの非常用食糧の割合	%	53.4	50.4	50.4	52.8			
	指標 3	整備計画目標に対する備蓄済みの災害用トイレの割合	%	65.3	65.3	65.3	65.3			
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード	3056	事務事業名称	災害対策施設整備等事業				所属名	総合防災課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			この事業は、八千代市地域防災計画に基づき防災施設や備蓄品の整備等を行い、災害に対する総合的な対策を行う事業で、特に有効な改革・改善等が見つかりませんので、現状のまま継続して行います。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状のまま継続して行いますので、経費・効果は不変です。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
安全な避難場所の整備が求められている。（第8回八千代市市民意識調査より） 情報伝達体制の充実・強化が求められている。（第8回八千代市市民意識調査より）									

所属長コメント	今の事業形態で、今後も鋭意に進めていくことにする。								
	評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			実施計画事業として有効性，効率性を検討すべき。				
☐ 手法プロセスの改革・改善									
☐ 事業規模の拡大・縮小									
☐ 統合・役割見直し									
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									